

夏季ダボス会議における李克強総理挨拶

田中 修

はじめに

9月10日午前、李克強総理は大連で開催された夏季ダボス会議で挨拶した。本稿では、その概要を紹介する¹。

1. 中国経済の現状

現在、世界経済の回復は力に乏しく、少なからぬ国際機関が世界の成長率予想を下方修正している。混沌とし複雑な局面に直面するほど、より自信を奮い立たせ、希望を見出さなければならない。

ここで、私は皆さんに、現在中国経済の動向は鈍化の中で安定傾向にあり、安定の中で好転しているが、安定の中に困難もあり、総体として試練よりチャンスが大きい²と申し上げたい。

正に、大衆の起業・イノベーション精神は、我々に時局の困難さを克服する自信を強くしてくれる。我々は年間の中国経済社会発展の主要目標・任務を実現する能力があるし、未来のために持続可能な発展の堅実な基礎を打ち固める。世界経済成長が鈍化する情況下、今年上半期の中国経済は7%成長したが、これは非常にたやすくなかった。これは、10兆ドルの経済規模の基礎の上に得た成長であり、高いベースの上での成長だからである。これは過去の2ケタ成長の絶対量よりも大きい。この速度は、世界主要経済体の中でなお前列に位置している。

更に喜ばしいことに、中国の経済構造は急速に最適化されている。サービス業は既にGDPの半分を占め、経済成長への消費の寄与率は60%に達した。ハイテク産業の成長は工業全体より明らかに速く、情報・文化・健康・観光等の消費需要は旺盛であり、省エネ・環境保護、グリーン経済の発展は今まさに盛んになったばかりであり、新しい経済成長のスポットが誕生を促される中で急速に形成されている。

中国経済の平穏な発展は人民に幸福をもたらし、人民がどう感じるかが最重要である。今年に入り、雇用は安定的に拡大し、上半期の都市新規就業増は718万人と、年間目標の72%を達成し、大都市調査失業率は5.1%前後である。同時に、全国1人当たり可処分所得の伸びは経済成長より高く、農民1人当たり可処分所得の伸びは都市住民より速い。物価は安定を維持しており、個人の消費能力は増強され、社会消費品小売額の伸びは10%を超

¹ なお、読者の便宜のため、適宜見出しをつけている。

² ゴチックは筆者。

えている。

私は何度も言っていることだが、比較的十分な雇用があり、個人所得の伸びが経済と同歩調であり、生態環境が不断に改善されてさえいれば、経済成長率が少し高くても、少し低くても、我々はいずれも受け容れることができる。

2. 世界経済への貢献

中国経済の平穏な発展は世界に恩恵ももたらす。今年上半期、世界経済成長に対する中国の寄与率は 30%前後である。世界貿易が低迷し、大口取引商品の価格が大幅に下落しているため、中国の輸出入は金額上は伸びが鈍化しているが、輸入の大口商品の数量はまだ減少していないし、ある程度増えてすらいる。中国は現在輸出入を最適化する中で、更に積極的な輸入政策を実施しており、今後輸入商品の数量はより多くなろう。中国の対外投資は引き続きかなり速い伸びを維持している。

国外観光客数は大幅に増加し、去年はのべ 1 億人を超え、今年上半期は前年同期比でさらに 10%増加した。中国観光客の出国は観光であり、買い物である。これは中国の庶民が経済発展の見通しに楽観的であることを説明するものである。中国人は収入を量って支出とする伝統があり、もし安定した収入源がなければ、敢えて消費しないからである。事実が証明するのは、中国は世界経済のリスクの源ではなく、世界経済成長の動力源の 1 つだということである。

3. 困難・試練

当然、中国は少なからぬ困難と下振れ圧力に直面してもいるが、依然として合理的区間にある。国際市場と密接に関係する経済体として、世界経済の状況は総体として弱含みであり、中国だけがその身を善くすることは不可能である。同時に、国内の長期に累積された深層レベルの矛盾が徐々に顕在化している。

中国経済は正に新旧動力エネルギーの転換段階にあり、製造業が粗放型成長から集約型成長へのグレードアップ・発展を実現し、投資牽引への過度な依存から消費・投資が協調した牽引へと転換することは、陣痛が充満し十分困難なプロセスである。この期間の経済成長は変動・起伏を免れがたく、これは調整・転換の一種の正常な現象であり、漢方医の言うところの「脈の状態」である。

ここ 2 ヶ月、ある指標は下落・変動が出現している。しかし、これまでに採用した一連の政策措置は正に徐々に効果が現われつつあり、経済における積極的要因が多く累積しているので、ある指標には強含みが出現してもいる。総じて言えば、中国経済のファンダメンタルズには変わりはない。正に「形は変動しているが、勢いは好転している」のである。経済の短期的変動についても、我々は軽視してはいない。

4. マクロ・コントロール

現在、我々は必要な方向を定めたコントロール、タイミングを見計らったコントロール、精確なコントロール措置をも採用している³。これにより主として、短期の変動幅を縮小し、伝播により効果が大きくなることを防いでいる。いったん合理的区間を滑り出る兆しが出現したら、我々は十分な能力で対応するので、中国経済に「ハードランディング」は出現しない。

これは絵空事ではない。ここ数年、経済の下振れ圧力はかなり大きかったにもかかわらず、我々はマネーを大量発行していないし、大規模な強い刺激も行っておらず、主として改革に依拠して経済の活力を増強し、経済を安定させただけでなく、さらなるコントロールの余地を残している。中国中央政府の財政赤字の対 GDP 比は、世界主要経済体の中でもかなり低い。中国はマクロ・コントロール政策を刷新しており、マクロ・コントロールの工具箱には道具がなお少なからずある。囲碁と同様に、眼前の石を1つ1つしっかり打ち、的確に政策を打ち出し、現在の経済の下振れ圧力に耐え抜くだけでなく、後の手を残し、勢いを謀り勢いを蓄え、経済の長期にわたる持続的で健全な発展を促進する。

5. 中国経済の潜在力

我々は中国経済の未来はより良いと言ったが、決して盲目的に楽観はしていない。これには基礎・条件・動力がある。一面において、中国経済には巨大な潜在力と内在的な強靱性がある。中国の新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化のプロセスは、深い推進段階にあり、内需拡大の強い需要を内包している。

中国は地域面積が広大であり、産業の累計が多様であり、東方が暗いとき西方は明るく、ある業種が不振でも別の業種は盛んである。中国経済の支えは1本の木ではなく、4本の梁と8本の柱があり、強い衝撃抵抗能力・強靱性を備えている。

現在、中国人民は2020年に小康社会を全面的に実現するというマクロ目標に向けて奮闘しており、これも社会動員による強大なパワーを凝集させることになる。

他方で、中国は構造改革を推進し、改革ボーナス効果が絶え間なく発揮されている。中国はなおも世界最大の発展途上国である。発展は絶対の道理であり、中国の一切の問題を解決する基礎・カギである。

しかし、発展は科学的発展でなければならないし、質・効率が高く持続可能な発展でなければならない。このような発展を実現するには、改革開放に依拠しなければならない。我々は正に改革を全面深化させており、構造改革を急速に推進し、イノベーション駆動による発展戦略を実施し、潜在成長率を十分発掘するよう努力しており、経済の中高速成長を維持し、ミドル・ハイエンド水準へと邁進している。

³ 従来の「区間コントロール」が抜け落ちている。

6. 経済改革

今年に入り、財政・税制、投融資、価格等の分野で市場化改革を不断に深め、市場参入規制を取り除き、公平な競争を促進する措置を次々に打ち出し、構造調整の推進を軸に改革を強化している。

金融分野の改革は、総じて市場化・法治化の方向に基づき引き続き推進しており、公開・透明で長期にわたり安定し健全に発展する資本市場を積極的に育成している。同時に、リスク管理を引き続き強化・整備し、地域的・システミックな金融リスクを発生させない最低ラインを断固として守っている。わが国の個人貯蓄率は高く、外貨準備は多く、相当な金融総量がある。池には水が多く、カギはこの水をどのように用い、動かし、活性化して実体経済に流し込むかである。我々は、構造改革の措置を通じて、ストックを活性化し、遊休資金の潜在力発掘に力を入れ、金融資源の配分を最適化し、金融効率を高める。

最近、我々は利下げ・預金準備率引下げにおいて、一連の改革措置を採用した。今後、我々は引き続き民間資本の金融分野参入規制を緩和し、民営銀行、信用保証・ファイナンスリースを積極的に発展させる。金融の対外開放を着実に拡大することは、我々の既定目標である。

我々は、人民元対ドルレート基準値（中間価格オファー）メカニズムを整備したが、その目的は人民元レート形成をより市場化することである。同時に、我々は、為替レートを合理的な均衡水準に基本的に安定させることを引き続き維持する。我々は、資本項目の兌換化を着実に実現する。最近、我々は国外中央銀行にインターバンク債券市場への投資を開放した。今後国外中央銀行にインターバンク外為市場への直接参入を認める。年末までに、人民元のクロスボーダー支払システムを作り上げるが、これは人民元のオフショア市場を更に好く発展させることに資するものである。

私が申し上げたこれらの多くの措置は、一部分とってよく、いくらかの方面が漏れている可能性があり、皆さんに我々が引き続き改革を推進することを表明しただけである。当然、改革を秩序立てて推進し、一步一步推進していく決意に変わりはなく、歩みが鈍化することはない。改革は依然として、巨大な発展のボーナスを不断に発揮するものである。中国にとって構造改革は、全人民の尽きることがない創造力を奮い立たせるものである。

（ここでテレビ放映は終了）

7. 起業・イノベーション

昨年、私は夏季ダボスフォーラムで、「大衆による起業・万人によるイノベーション」を推進しなければならないと提起した。これは、構造改革の重要な内容であり、我々は引き続き行政の簡素化・権限の下方委譲、開放と管理の結合、サービスの最適化等の改革を推進し、小型・零細企業の税費用を減免し、イノベーション投資誘導基金等を設立する。この一連の重大措置は、広範な人民大衆の起業・イノベーションの情熱を動員するものであり、このブームは正に中国の大地に勢いよく興っている。

起業・イノベーションに参加するのは、大学生・出稼ぎ農民・留学帰国者のみならず、多くの企業の科学研究者、技術・管理の中核者でもあり、草の根とエリートが肩を並べるといってよい。

起業・イノベーションのプラットフォームは多様であり、小型・零細企業のみならず、多くの大企業もイノベーション・起業の列に続々と加わるものであり、大衆によるイノベーション・請負・支援・資金調達等のプラットフォームに引き入れていく。これは、生産方式・管理方式の変革を触発するものであり、企業内部の従業員の一定ライン以上にはリターンがあり、一定ライン以下のポストには給与があり、外部のイノベーション参加者には成果が共有される。これはまた多くの小型・零細企業をインキュベートするものである。多くの科学研究機関はインターネットに依拠して協同開発を展開し、科学技術イノベーションの効率を大きく高めている。

大衆による起業（創業）・万人によるイノベーション（創新）という「2つの創」は、発展の強大な動力の発展を推進する。人間の創造力は、発展の最大の元手である。中国は9億の労働力があり、毎年700万余の大学卒業生があり、ますます多くの人々が起業・イノベーションに身を投じ、新しい供給の誕生を促し、新しい需要を発揮させ、安定成長の重要なパワーとなっている。

「2つの創」は、雇用拡大の有力な支えでもある。経済成長が鈍化しても雇用は減らず逆に増えているのは、主として新しい市場主体が急速に成長しているからである。我々は、行政の簡素化・権限の下方委譲、商事制度改革等を通じて、現在真日なお1万社余りの新企業が設立されており、この現象は既に1年半以上続き、現在も続いている。これは大量の雇用機会を生み出している。

「2つの創」は、発展を共に享受する経済の重要な推進力である。現在、世界が経済を共に享受することが急速に進展しており、経済成長を牽引する新しいルートとなっている。共に享受し、協力する方式を通じて、起業・イノベーションを行えば、ハードルはより低くなり、コストはより小さくなり、速度はより速くなる。これは、わが国が経済を共に享受する新たな分野を開拓することに資するものであり、より多くの人々を参加させることになる。

「2つの創」は、所得分配モデルの重大なイノベーションでもある。多くの人々が起業・

イノベーションによって所得を増やし、「第1次分配」の役割を更に好く発揮させ、中国の特色ある「大衆が富を創り、労働により富に至る」道を初歩的に模索することは、合理的な分配構造を形成することに資するものである。

「2つの創」は、**社会の公正を促進する有効な方途である**。どのような人であれ、意欲・能力があれば、だれもが起業によって自立し、イノベーションによって輝きを放つことができ、だれもが平等な発展機会と社会での上昇ルートを得て、尊厳・価値を更に好く体現できるようになるのである。

私が比較的多く「2つの創」の内容を詳しく述べてきたのは、人間の創造力は無限であり、中国人の知恵は巨大であり、人類の知恵は尽きることがないからである。**大衆による起業・万人によるイノベーションを推進するには、全面的で波及力が強い公共財・公共サービスの供給が必要である**。この方面においても、構造改革に依拠しなければならない。政府は「一人芝居」を唱えず、**社会（民間）資本・外資と一緒に行動する**。

我々は、政府の社会サービス調達、政府と私営資本の協力、フランチャイズ（特許経営）等の市場化方法を通じて、公共財・公共サービスの分野での建設・運営管理に民間が投資し参加することを奨励・誘導してきた。同時に、外資の市場参入を緩和し、多元的な供給の新たなモデルを形成してきた。今後、我々はこの方面の改革を引き続き推進することにより、**起業・イノベーションのプロセスをよりスムーズにし、経済発展の道をより平穩にし、人民の生活水準をより引き上げる**。

8. 対外開放

中国の改革のプロセスは、開放を不断に拡大するプロセスであり、世界に不断に融け込むプロセスでもある。中国が開放する大きな門戸はますます大きく開かれており、我々が外資を利用する大きな政策に変わりはなく、**具体的政策では更に多く外資を吸収し、更に分野を広げていく方向に変化していく**。

たとえば、今年我々は外資による投資分野を引き続き拡大し、規制項目を50%取り消したが、これは外資による投資の簡便化を推進するためである。我々は、許可制を基本とすることを届出制に改める。我々は、引き続き中国を世界で最も吸引力を備えた投資の目的地に作り上げていく。

9. 国際協力

最近、国際金融市場の動揺が、既に世界経済の回復プロセスに影響を生み出している。各国がマクロ経済政策の協調を強化し、協力して金融市場の安定を維持し、世界経済の再び健全な成長軌道への回帰を促進することは、既に急務となっている。

国際金融危機の発生以降実践が証明していることは、単に量的緩和政策に頼っていても成長を制約する構造的障害を解決することは難しく、マイナスの外部効果をもたらす可能

性があるということである。着眼点をやはり実体経済の強化に振り向けなければならない。これには、各国が国内で構造改革を推進し、国外で国際協力を強化することが必要である。

我々は、「シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード」の建設を提起し、国際生産能力協力を展開しているが、これはすなわち中国の開放を更に拡大するということであり、各国が比較優位性を発揮するのに有利で、更にバランスのとれた普く恩恵が及ぶグローバル産業チェーンを再構築するものであり、互惠・ウインウインで包容力があり共に進む世界の発展・利益共同体を作り上げるものである。

現在、世界各国は異なる発展段階にあり、国際生産能力協力を通じて、各方面の供給と需要に有効にリンクできるのみならず、供給のイノベーションを用いて需要の拡大を牽引することができる。

発展途上国の工業化・都市化は正に急速に進展しており、これに適用する技術装置・インフラ建設への需要は強い。少なからぬ中等所得国と先進国の装置・インフラも更新・改造を必要としている。資金さらには価格が高いという制約を受けて、いくらかの需要が抑制されている。

各自の比較優位から見れば、先進国はカギとなる技術・先進装置があるが、ワンセットの装置・製品は価格がかなり高いため、販路に限りがある。発展途上国は自然資源が豊富であり、労働力コストが低いが、産業・製品の多くがローエンドである。中国はミドルエンドの装置・生産能力を持っており、性能・価格は比較的高く、総合的にプロジェクト建設を組み合わせる能力が強く、外貨準備は充足しているが、産業は転換・グレードアップを必要としている。

もし3者の協力が展開され、各自の優位性が結びつければ、かなり低い価格を用いて質の高い装置・製品が提供でき、建設コストを引き下げ、異なる国家の需要を更に好く満足させることができる。このことは、各国が産業発展の難題を解決し、産業のレベルを引き上げ、グローバル産業チェーンのハイ・ミドル・ローエンドの深い融合を推進することにも資することになり、具体的にマイクロで言えばより多くの合資・協力が必要である。

このようにすれば、国際市場を開拓できるのみならず、中国市場を開拓することもできる。これは凸レンズで光を集めるようなもので、各方面の供給・需要を凝集し、各方面の地益を交錯させ、世界経済の安定成長の新たな動力エネルギーを凝集させるものである。

国際生産能力協力の展開を一挙に多くを得するものであり、3者が共にウインとなる道であり、より多くの先進国・発展途上国の呼応を得るものである。我々はその中で先進国と発展途上国とをつなげる橋梁・紐帯の役割を発揮したい。

我々は先進国から多くの先進技術・ハイエンド装置を購入したいし、これと中国のミドルエンド装置を組み合わせ、性能・価格が比較的好いという優位性により発展途上国の需要に適応し、合理的な融資支援を提供したいと願っている。企業家の皆さんが、チャン

スをしっかり掴み、積極的に協力の機会を探し出し、協力モデルを刷新することを希望する。

国際生産能力協力は広範に及ぶものであり、各国政府・国際組織・金融機関の強い支援が必要である。各方面が国際生産能力協力をバイ・マルチの協力メカニズムの枠組みに組み入れ、協調を強化し、共同で推進することを建議する。

中国は自己の優位性を発揮し、国際生産能力協力に参加する中国資本・外資企業に対し、融資の便宜を図る。各方面が共同で力を発揮しさえすれば、国際生産能力協力は必ずや世界経済の発展史において、字・色の鮮やかな一篇を残すことができる。これは、「世界経済成長の新たな青写真を描く」ことにもなるのである。

10. おわりに

我々の生活は 1 つの世界にあり、発展はグローバル化の時代にあり、我々は相互に依存し、皆が同じ船に乗っている。世界経済の回復を促進するという共同任務を促進するには、国際社会は同じ船に乗り合わせ、協調を強化しなければならない。

私は昨日、中国は絶対「通貨戦争」を行わないと述べた。我々は国際生産能力協力を重視しており、競争は免れがたいとしても、もし我々が協力し、競争より協力を大きくすれば、我々の共同利益は我々の競争よりはるかに大きい。我々は手を携えて構造改革を推進し、自由で・開放された・差別のないマルチ貿易体制を協力して推進する。

中国は平和発展の道を堅持し、互惠・ウインウインの開放戦略を堅持し、各国と一緒に共同して包容力のあるバランスのとれた成長、グリーンで持続可能な発展を推進し、利益共同体・発展共同体を作り上げる。

世界において、皆が成果を共に享受し、一杯のスープを共に分け、世界経済成長の新たな青写真を共に描き、人類の素晴らしい新未来を共に創ろうではないか⁴。

(9月14日記)

⁴ その後の若干の応答は省略する。